

会 議 録

会議の名称	第五次座間市総合計画策定に係る地区別懇談会 【座間、新田宿、四ツ谷】		
開催日時	令和3年11月17日（水） 19時00分～20時40分		
開催場所	公民館		
出席者	【市】 佐藤市長、三浦副市長、大木企画財政部長 【参加者】 市内在住、在学、在勤の方 12人		
事務局	企画財政部企画政策課		
会議の公開可否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴者数	一人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	これからの座間市についての意見交換		
資料の名称	次第 これからの座間市について 補足資料 第四次座間市総合計画の取組結果（一部抜粋）		
会議の結果			
	意見交換		
議事の詳細			
	別紙のとおり		

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 「これからの座間市について」説明

} 別ファイルにまとめています。

4. 意見交換

【コンサルタント】

それでは、御意見等ある方いらっしゃれば。じゃ、すいません、真ん中の前から2番目の方。

【参加者】

ちょっと質問です。最初にいただいた資料の質問をさせていただきたいと思います。

17番、18番の歳入と歳出のグラフについてです。私が説明のときに聴き漏らしたのかもしれないのですが、これは多分最初のもはカラーだったのですよね。それをモノクロでプリントしているから分かりづらいかと思うのですが、財政の項目の、これ、上から順に考えていいのですか。1番上が地方税、次が国県支出金という意味でしょうか。歳出のほうも、1番上が人件費、次が扶助費っていうふうに見ればいいのでしょうか。グラフの中の色と下の説明の四角の中の色がマッチしていませんので、念のため確認させてください。

【企画財政部長】

大変失礼いたしました。まず、17ページの所を御覧いただきたいのですが、令和元年度と書かれている右側の棒グラフのうち、1番下に、見にくいかもしれませんが、193.6という数字が書いてあると思います。これは地方税です。下に、左から地方税、国県支出金、地方交付税、地方債その他と書いてありますけれども、1番左が1番下という形で順に積み上がっているグラフになっております。したがって、18ページの歳出の内訳につきましても、令和元年度の1番下が73.2というふうに書いてあるかと思うのですが、これは人件費です。それから順に積み上がっているという形になっております。大変失礼いたしました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、今のような質問でも構いませんし、普段皆様が生活されている中でいろいろ課題等もあるかと思えます。また、示されたテーマについて、具体的にこういったところを重点的に検討していったほうが良いのではないかというような御提案等もいただければと思います。意見のある方、いらっしゃいますでしょうか。じゃ、もう一度よろしく願いいたします。

【参加者】

本日はありがとうございます。私は、この3月まで他市で小学校の教員をしていました。なので、今までこういう企画に参加したことはありませんでした。今回、こういうふうに市民の声を市の総合計画に活かしていこうという企画は大変嬉しいなと思ひまして、参加させていただきました。ただ、私も途中まで仕事をしたりしてたものですから、今回のことも人から聴いて、あ、そういうのがあるのか、だったら行ってみたいと思ひて参加したわけなのですが、市民の方に十分知られてなかったかなというのが残念ですし、先ほどの今年やってきたアンケートですとかそういうのも参加できなくて残念だったなと思ひます。未来デザイン会議のときには、本当はともも行きたかったのですが、実は家族がコロナに感染しまして、私自身濃厚接触者になってしまったので、残念ながらということでした。なので、今日はとても嬉しいです。

さて、お話を伺って、私が思うのは、私が思う行政ってというのは、私たちの税金を使ってやっていくのですから、住民が誰でも気持ちよく穏やかに暮らせるようなまちだったらいいなと思ひます。そのためのサービスを提供してくれるのが行政かななんて思ひています。そういう目線で見るときに、やっぱり私も学校教育や子どものことがとても気になります。ぜひ子どもたちが伸び伸びと学べるようなそういう座間市にしてほしいと思ひます。具体的に言いますと、私、他市でって言いましたが、実は海老名市です。海老名市の小学校の先生をしていました。そういう経験から見ると、座間の給食がすごく素晴らしいのです。座間市の学校給食はおいしい、バラエティーに富んだメニューが出るっていうのは他の所でも有名です。なので、ぜひこの学校給食、自校方式の小学校の学校給食を守ってほしいし、中学にもぜひ広げてほしいなと思ひます。

それと、もう一つ気になるのが通学路のことで。痛ましい事故も全国で起きてますけれども、私、車でよく海老名に行くときに、四ツ谷辺りを通るのですが、細かいことであれですけど、四ツ谷の踏切の手前に10メートルほど人が歩く所が突然なくなるというか、道が欠けている所があるのです。入谷小の子どもたちがそこ通って通学しているのを見て、とてもかわいそうだなと。多分落っこちてけがした子はこの何年かの間にいるのではないかなって思ひるので、通学路の安全ということにもぜひきめ細かく取り組んでほしいなと思ひています。

もう一つ、お年寄りのことが気になります。退職してから近所のお年寄りといろいろ仲良くなったのですが、私、座間一丁目に住んでるのですが、交通の便があまり良なくて買い物に行くのが大変だという声、よく聴きます。スーパーがないのです。なので、コミバスっていうのかな、市の運営しているバスをもっときめ細かく運営してくれたらいいのになと思ひますし、あと、一人暮らしのお年寄りが本当に、不安とか、とても困っているのを私も見るのがあつて。だから、包括支援センターとかも入ってられるとは思ひのですが、地域の見守りのネットワークみたいなものをもっと工夫して、将来やっていけたらいいかなと思ひています。

最後に、細かいことになりますが、体育館の駐車場を有料化するっていう話を聴いたのですが、子ども、子育てに優しいまちって考えたときに、そういうところの駐車場が有料になるって、これ

はとても打撃だと思います。なので、市民の目線に立ったら、そういうことは考え直していただけたらいいかなと思います。すいません、長くしゃべりまして、よろしく申し上げます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。特に一人何分とかというのは設けてません。ただ、皆様、できるだけたくさんの方に意見を言っていただきたいので、今ぐらい簡潔に言っていただければ助かります。ありがとうございました。

まず最初に、子育てとか教育といった視点、テーマを示された中でも非常に重要なテーマであると市からは説明があったかと思います。その中で、給食の話であるとか、通学路の安全という話、それとコミバス等の運営の話、最後に体育館の駐車場のお話だったかと思います。個別の対応等は難しいと思いますけども、公共施設とかも含めた大きな考え方等、何かあればいかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。

まず、学校の給食のことですが、今、大変座間市の自校方式の給食を褒めていただきまして、ありがとうございます。私も座間市の自校方式の給食、大変おいしくて、子どもたちにもすごく人気がありまして、温かい給食を食べられるということや、栄養士の方や調理師の方たちが大変丁寧に作っていただいております、化学調味料なども使っておりませんで、うちなどは家庭の料理より手が込んで料理を食べられるというような、ルーなども小麦粉からちゃんと作っていたりするものですから、うちの子どもたちも大変大好きでした。また、地元の農家の方たちと栄養士さんがちゃんとコミュニケーション取ってくださっていて、地産地消がちゃんとできているのです。給食調理室のところに、今日はこの農家さんの野菜を使っていますってということで、農家の方の写真も貼ってあったりするので、大変食育という面でも素晴らしいと思っています。中学校の給食の課題もございます。今、デリバリー方式ということですがけれども、その辺りは総合的に、大変自校方式素晴らしいということは認識をしております。今後の課題として総合的に判断をしていきたいと考えております。

また、通学路ですが、毎年、通学路の安全点検というのはさせていただいているわけですが、個別の案件はまた個別にと思うのですが、機会を見て、しっかりと安全が確保できるようにしていきたいという思いで取り組んでいきたいと考えております。

また、高齢者の方々のことですがけれども、これはもう本当に本市だけにかかわらず、いろいろな所で課題になっていると思います。民生委員の方々が回っていただいたりとか、それぞれの地域でいろいろと高齢者の見守りということで取組もしていただいたりはしているのですがけれども、なかなか行き渡らない部分もあるかとも思います。地域包括ケアシステム、地域包括支援センターでいろいろ把握をしていただいたりということはあるのですが、その情報も知らない方もいら

したりという課題があると認識をしておりますし、また、実は分野別の所でちょっとお話があったのですけれども、保育園の方で地域と話し合いをされて、それで、高齢者の方の、災害時のときのフォローを保育園の方でやりましょうというような話し合いが進んでいたりといった取組も、実はそれぞれの地域であります。これまでそういった保育園と地域の高齢者の方々をつなぐようなお話はなかなかなかったと思うのですけれども、地域にはいろいろな施設、福祉施設やそういった保育園や学校、また企業さんなどがありますので、そういった地域の資源と地域の方々をつなぎ合わせて、地域の中でそれぞれの地域の特性に合わせた形が取っていただけると考えているところであります。

また、体育館の駐車場の有料化に関しましては、色々と御意見をいただいております。良質な公共施設を今後も維持していかなくてはならないということや、また、あの場所は少し特殊な事情がありまして、すぐ隣に病院があります。病院の方は有料の駐車場であるということから、利用者の方々が、病院を例えば利用する方たちがそちらに流れてしまうと、逆に利用がしづらくなってしまいうようなそういう課題などもあることから、今回、体育館は有料化ということでさせていただくことになりましたので、御理解をいただければと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、御意見がある方、いかがでしょうか。その後ろの方、よろしくをお願いします。

【参加者】

今の話の中で、給食という話が出ておりまして、これは給食をぜひ中学の場にも広げていただきたいと思って、自校での給食実施というのも実現していただきたいと思います。働くお母さんたちは、それは本当に切実に思うことだと思います。そういう支援でもありますし、また、何か災害などが起こった場合は、そこで炊き出しなどいろいろなことに活用ができると思っておりますので、それはなるべく早い時期に実現を望んでおります。

それから、いつも感じておりますのは、せっかく畑や田んぼがたくさん座間にはあるのですけれども、高齢化が進んでいまして、それをどういうふうにしていこうかという、悩んでいらっしゃる地主さんというか、田畑を持っていらっしゃる方たちがたくさんいらっしゃるのです。それを行政の力で、間に立って、貸す方と、それから貸していただきたいと思っている方たちをつないで、間に立って双方が良いように回していくような何かそういうお手伝いをぜひしていただきたいと思います。それは、一度田んぼや畑を潰してしまうと、これはやはり自給していただけるような座間市であってほしいと思っておりますので、それを何とか底支えをしていただいて回していく。それをまた給食の場に、今提供していただいているということがありますので、それを更に広げていただくと、そこで働く若い方たちの活路になっていくと思うのです。それをぜひ実現していただきたいと思います。

それから、持続可能ということになりますと、そこでやはりなるべく農薬を使わない、せめて低農薬、あるいは本当は有機であってほしいと願っておりますが、それも行政の方向としてお示しいただけるとすごくありがたいです。

というのは、やはり子どもたちは、体をつくっていく段階でどういうものを食べて育っていくかということがすごく大きいことになってくると思うのです。それから、今は経済的な問題で食べられないお子さんがたくさんいらっしゃる。民生委員の方たちに聴いてみると、それは守秘義務というのがあってなかなか実質的には実際はつかめないっておっしゃるのです。だから、どういう支援をしていこうかということになると、コロナでなかなか難しいことがあるようだけれども、子ども食堂、そういう形でなさっている所がいっぱい増えてきていると思うのですけれども、中学で給食、今本当に質の良い給食が提供されてますので、それを中学で実現するということがやはり子どもたちにとって必要。それから、食べられないお子さんたち、ましてやすごく成長する中学の段階で、食べられない子どもたちがいるってことは、気持ちが荒れていくと思うのです。そういう子どもたちを出してはいけないと思っているのです。ぜひ行政のそういう枠はやっぱりそこに使う、お金を使うってことだと思っております。ぜひそれをやっていただきたいと思えます。

それから、座間はすごく水がいいです。おいしくていい水があると思っております。でも、いろいろな所で木を切っている。温暖化もあって害虫もつきやすくなってるのか、いろんな事情はあるかと思えます。木が空洞になってしまって強い風が吹くと危ないっていう、そういう声も聴きますけれども、樹木医さんがそれを見て診断されてるとは思いますが、もう一度、そこに何十年もある木を切るということ、それは水にもつながっていくことだと思っております。だから、そのところをもう一回検証していただいて、それから、もし、どうしても切らなければならぬということになりましたら、どうか植樹をしていただきたい。そういう枠もぜひつくって、座間市のいい水を持続させていただきたいなって思っております。

後は、子育て支援という枠の中で、若いお母さんたちが、保育園に入れられる方、それから幼稚園に入れる方もいますが、その前に、まだ小さいお子さんを抱えているお母さんたちが、体調が悪くなってしまった場合に、少しでもいいから預けられる、そういう何か支援ってないのだろうかというの、ちょっとこのところ気になったりしています。そういう枠もぜひ考えていただけたらなって思えます。

それから、もう一つ、木を切ってしまうっていうのを、例えば座間駅に隣接している桜を切っているのをちょっと聴いたのです。あれはどういうことなのかっていうのもちょっと知りたいなって思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。先ほどの給食のお話に関連して、農業といった視点もあったかと思えます。あと、水とか緑といった視点で樹木の伐採といった課題でありますとか、最後は子育て支援といったことだったかと思えます。市長いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。まず、中学校の給食ですけれども、私自身は、実は、小中学校、給食がある所で育ちました。座間に来て、中学校、給食がないということで、正直少し驚いたのです。議員時代も中学校給食、何とかということで一般質問などもさせていただいた経過がございます。そういった中で、今のデリバリー方式を実施していただくように皆様からも御要望などありまして、実施していただくような経過になってきました。先ほどもお話あったとおり、お子さんの6人に一人は貧困の状況にあると言われておりまして、その状況を本市でも現場の先生方に伺うと、そのような状況であるということでもあります。ですので、そういったお子さんたちが、まずは学校に来てお腹いっぱい食べられるような環境を整える、義務教育の間は何とかそういった環境を整えるということが大人の役目であると考えております。ですが、本市は、御存知のとおり、今、デリバリー方式ということでやってまいりました。そのときもアンケート調査をしたりですとか、あと、センター方式だとどのぐらいの経費がかかるかといったことなども含めて、デリバリー方式がその当時、座間市にとってはふさわしいということで行ってきた経過がございます。今、公共施設の再整備計画をやっていますけれども、まだ学校は手を付けていない状況であるのですが、今後、小中学校の在り方なども含めて、総合的にやはり小学校、そして中学校の給食の在り方ということは考えていかななくてはいけない課題だと思っております。

また、農業者の後継者というお話がございました。本日も実は農業従事者の方たちから色々とお要望いただいたところでありますけれども、後継者問題は本当に大変深刻な課題だということは認識をしております。御提言をいただいたような仕組みづくりというのも大変大切だと思っております。今、若い方たちが、農業をやりたいという方も増えているというのは感じておりますので、そういった方たちが農業に携われるような仕組み作りというのも大切だと思っておりますし、また、後継者の問題ですとか、今後の市としての土地の活用方法なども含めて考えていかななくてはならないと思っております。やはりできる限り自給自足ができる、また自給率を市としても高めていく、国としても高めていくということは大変重要なことだと思っております。

経済的に大変厳しいお子さんがいらして、子ども食堂の取組、本市の中でも行っていただいている団体の方々もいらっしゃいます。私もその手伝いなどもしてきました。今、社協さんでだいぶフォローしていただいていたりするのですけれども、その辺りも何かしら仕組み作りというか、支援をできるような仕組みを作っていかななくてはならないと考えております。

また、本市は水が、大変地下水が豊富で、86%以上が水道水が地下水ということで、大変おいしい水を保っております。そんな中で、木を、昨日も木をだいぶ切っているというような御意見の方がいらっしゃったのです。やはり老木化してしまうと、実は以前、台風が来てその時に老木化した木が飛んでしまって、けが人は幸いなかったのですけれども、車にぶつかってしまったというような事故もございまして、やはり老木化したものは切らなくてはならない。その代わりに何かしら植樹をするというような、例えば相模が丘の桜並木など、さがみ野の桜並木もそのような形で再生をしているところであります。緑に関しましては、緑の基本計画なども市としてありますので、できる限り維持をしていくといったこともしていかななくてはいけないと思っております。

また、子育ての関係ですけれども、保育園に入園前のお子さんが、具合が悪くなったときに少し預かっていただける場ということで、本市では、ファミリー・サポートということも行っております。また、内容によっては、保育園などで一時預かっていただいたりとか、少しそういった支援策もございしますが、どこまで十分かというところはあると思いますので、貴重な御意見と受け止めさせていただきたいと思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、御意見ある方いかがでしょうか。挙手をお願いします。せっかくの機会ですので、まだ発言されてない方、特にいかがでしょうか。こちら前から2番目の方、よろしくをお願いします。部屋、どうですか、寒いですか。大丈夫ですか。何かあったら言っていただければと思います。すいません、よろしくをお願いします。

【参加者】

私は5年ほど海外におりまして、市長が選挙に出られて当選された時期には投票権がございませんでした。日本にずっといたときには、座間市を含め、こういった政治的な話というのはあまり関心を持ってなくて仕事ばかり勤しんでいたのですが、すいません、ちょっと前置きが長くなりますが、御容赦ください。昨年一時帰国したときに、半年ばかり日本でといいますか、自宅待機になりまして戻れなくなりました。そのときにいろいろなテレビを見たり、政治的な話を聴くに当たって、座間市って一体どうなってるのだろうというところに興味を持ちました。市長も代わったって話もそのときに実感として持ちました。その後、いろいろと、どうやったら市長の考え方、座間市の市役所の、市の運営の仕方ってどうなっているのだろうといういろいろ分からなくて、ホームページを見たのですが、残念ながら市長がどういうことをお考えになってるのか、そういうことを具体的に私としては掴めませんでした。今回こういう機会があるということで参加したのですが、第五次座間市総合計画策定に関わる地区懇談会ということですが、四次のほう、途中参加で御説明があったのかもしれませんが、第四次座間市総合計画の取組結果、私、仕事柄、いろいろな政策といいますか、戦略的なことにちょっと関わってるとこもあ

るのですけども、今ざっと見させていただいたのですけども、もちろん初めて見ます、これ。ホームページのどこかにあるのかもしれないのですけども、見つけられませんでした。読んでみますと、非常に良いことが書いてあります。政策1「笑顔あふれる健やかなまち」、政策2「支え合い思いやりに満ちたやすらぎのまち」と。すいませんけども、どこかで聴いた文言がいっぱい並んでる気がします。文章も非常に難しいのです。ポイントはどこかっていうのは私の能力ではつかみ切れません。一度読んだきりでは。

何を申し上げたいかという、私たち市民にとって非常に分かりやすいというのは、いろいろなどこかで聴く言葉を並べるという意味ではないです。座間市の強みと弱みと課題と、何かポイントがあるはず。それを、強みをどうするのか、弱みをどうするのか、放っておくのか。座間の特徴っていうのはあるはずなので、どこかの市で作った政策に移し替えても良いような内容ではないものを期待しているのです。これは非常に難しいことですが、それが本当の政策を作るということじゃないかなと思っているのです。なので、ぜひ五次のときには、分かりやすい、言葉が、聴いた言葉という意味ではないです、もちろんお分かりだと思っておりますけども、私たち市民一般人が実感として感じられるような、たくさんじゃなくてもいいので、そういった政策にしていきたいなど。これがお願いです。

最後に、何でこんなことを申し上げるかという、こんな事例がありました。昨年、コロナで自宅待機しているときに、先ほど申し上げましたように戻れなくて、座間市のコロナの状況ってどうなっているのだろうということで、市長に質問投稿できるというのがホームページでありましたので、投稿しました。一週間か二週間経って返ってきて、書面でいただきました、返事を。二行、「ホームページをみてください」という、ちょっとそれは大げさですけども、私が御質問したのは、座間市のコロナの状況を知りたいですと。なぜならば、国とか県は毎日毎日、どれぐらいの人が感染して、重症者がどのぐらいってものを提示しています。これから増えていくという時期だったのです。座間市は増えているのか減っているのかよく分からない。増えているとすると、やっぱり注意喚起を自分でもして、周りにもしなきゃいけないね。恒常状態だったらそんなに慌てることもないから、普通の今までどおりやっていたらいいかな、そういうことを知りたいので、掲示したらどうでしょう、毎日このぐらい出てますと。変化点が見たいとお話したのですけども、「保健所の指示に従って対応しております。ホームページをみてください」。がっかりしましたね。市長の判子がバンと押してありました。つい最近までその紙を持っていたのですが、こういう機会があればお持ちしてお話をしたかったのですけども、一カ月ほど前に捨ててしまいました。

こんなことをいろいろ申し上げておりますけども、要するに、市民に近い、市民が何を思っているのかというところを、パフォーマンスで終わることなく、こういった場でやるだけじゃなくて、本当に日々の日頃から汲んでくださって、いろいろな理解をしてる人、いろいろな思いをしてる人に対して、分かるように伝えていただくようなことをやっていただきたいなと思っています。個別の話については、先ほどからいろいろ出ておりますので、それは必要なこと、大事なことだ

と思いますので、ぜひお願いしたいのですけれども、根幹のところでお願ひしたようなことを考えていただいた五次計画にさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。これから計画策定に当たっての市民への分かりやすさ、実感できるものといった御意見、政策に関わる御意見だったかと思ひます。いかがでしょうか。

【市長】

大変貴重な御意見いただきましてありがとうございます。御指摘があったとおひ、総合計画といひても、市民の方々がどれだけ知っているかといひところは、なかなか皆様に落とし込んでいないといひのが実際のところだと感じておひます。ぜひこの第五次座間市総合計画に関しましては、市民の方々が生活をする中で、座間市はこういひ政策を進めているといひことが分かるような形で活字の中に落とし込んでいけるようなものにしたいと思ひています。

それには、行政だけ、どうも総合計画といひると、もちろん市民の皆様も共に歩んでいただくのですが、行政の計画、行政運営をするための計画といひ認識に陥りやすいのかなといひ感じは受けておひまして、市民の方々と共に目指すべき目標だと思ひているので、行政だけではなくて、市民の皆様や企業の皆様などにも御協力いただきながら、生活して、例へばまちを歩いて、座間市で健康文化都市宣言といひのをやっているのですけれども、多分健康文化都市宣言をしているといひことを知っている市民の方々があまりいないと思ひます。そういったことが例へば肌で感じられるような施策であったりですか、例へばレストランに行き、座間は健康文化といひことに力を入れているといひことが分かるようなことを行っていくことで、市民の皆様と共に目指すべき目標といひのも共有ができると思ひていますので、これまでの行政の手法にこだわらずに、民間の皆様などとも、目標設定や手法なども含めて「共創」といひことで共に創るといひような形をやっていきたく思ひています。そして、新たな価値を、地域の価値を作り上げていくといひたことを行いたいといひのが私の希望です。また、色々御意見をいただきましたことは、今後の市政運営に反映をして、私自身の中で受け止めさせていただきたいと思ひます。ありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、御意見ある方いかがでしょうか。よろしいですか。2回目でも構ひませんが。では、真ん中の方、よろしくお願ひします。

【参加者】

2回目でごめんなさい。今の方の話の中に出た第四次総合計画の取組結果といひのを読んでの話されてましたが、私も、これを読んでも、何か耳触りのいいこと並んで、具体的には分から

ないなっていました。それはちょっと置いて、その中の3ページ目にあることを、ちょっとうーんと思ったことがあります。3ページ目は政策についてが始まる場所です。その(1)政策1「笑顔あふれる健やかなまち」っていうくくりの下から5行目、「まちづくり指標のうち、1指標が目標を達成しました」と書いてあります。これは座間総合病院が開院したこと、それから、「休日急患センターや広域による救急医療体制の整備により、医療サービスを必要ときに受けられるようになってきていると思う市民の割合」が高くなってきたということかな。つまり、座間総合病院が開院したことは、座間市にとって良かった。これは健やかなまちという点で評価点が上がったとされていると私は捉えました。確かに座間に大きな病院が欲しい、住民になって私、30年ちょっとですけれども、そういうふうに思ってきましたので、ありがたいことだと思うのですが、先ほど、座間総合病院のすぐそばに体育館があって、隣じゃないけど、間に消防署があるんですけど、すぐそばに体育館があって、体育館の駐車場を有料化しないと、病院の利用者が体育館の駐車場をいっぱい使っちゃったら体育館の利用者が使えなくなるということを、なぜ有料化するのかの中心点のようなお話と受け取ったのですが、座間総合病院ができたのは座間にとっていいことであるならば、その病院の利用者が気持ちよく病院を使ってほしいって当然思いますよね。私も座間総合病院にはかかったことありますけど、あそこの駐車場がちょっと高いかなとも思うのです。患者であっても、今日かかりましたっていう領収書とかあっても、結構高いですね、他の病院に比べても。だから無料の体育館の駐車場を使ってしまうのかなと。もしそういう考えがあるのだとすれば、それは、だから体育館を有料にしようではなくて、座間総合病院の駐車料金がもうちょっと市民に優しい料金になればいいのに。そうはいつでも私立ですから、座間市が建てた病院ではないけれども、でも、座間市が誘致して、非常に優遇して、土地代も確か優遇している。そういうふうに座間はあそこに病院があつたらいいなということで税金も多分使われているのではないですか。そうやって誘致した病院ですから、その利用者が使いやすくするために座間市としても何か施策ができないか。そのために、だから、子育てや若者たちもいっぱい使うような体育館の駐車場を有料にしますというのは、何かちょっと本末転倒で、笑顔あふれるまちとは違うのかなって、ここだけは私は違和感を感じます。なので、今後の第五次を考える際には、この病院も含めて、本当に市民にとってすてきなまちにするためにはどうしたらいいのかを、住民の私たちもちゃんと声を上げて一緒に考えていきたいなと思いました。すいません、たびたび発言しまして。ありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。先ほどの御意見等も踏まえて、含めてというか、そういった駐車場等の問題、個別の回答はちょっと難しいとは思いますが、どうしますか、御意見として承りますか。何かあればよろしくお願ひします。

【市長】

御意見いただきましてありがとうございます。まず、座間総合病院の件ですけれども、もともと座間市、あった病院が市外に転出してしまったりということで病院が大変少なくて、市外への救急搬送が割合として80、ちょっと正確な数字を忘れてしまったのですけれども、確か80%以上が市外に救急搬送されているということで、確かこの懇談会などで、市民の方々から座間に病院がないということで切実な訴えを受け、そして座間総合病院誘致という形になっていったと記憶をしています。私も、救急搬送は市外ということで、特に厚木の方などに行きますと、川を挟んで行きますので、搬送までの時間がかかってしまったり、あと、入院してから家族がお見舞いに行ったりとかそういったことも苦労しているような状況もあったので、座間総合病院ができて本当に良かったなと思っているところです。今、駐車場の件に関しましては、御意見として受け止めてさせていただきますが、駅から近いということも要因の一つとしてはございます。そしてまた、以前、公共施設の再整備計画などで色々とアンケート調査を取った結果も踏まえまして、受益者負担というところも視点としてはございます。そういったところも含めながら、良質な公共施設を次世代に引き継いでいかななくてはいけないということも私たちは考えていかななくてはならず、財源もやはり限られています。それぞれのお立場から色々こうあってほしいといった御意見もいただいています。例えば今日もいただきました小中学校の給食の件ですとか、いろいろとございまして、特に小中学校の老朽化というのは大変課題があると私は感じております。小中学校の老朽化を今後やはりまずしっかりと踏まえた上で、全体的なバランスを考えながら運営をしていかななくてはいけないということがあり、そういった中で全部を皆様が望むような形で行っていくというのは大変難しいということもあります。限られた財源を皆様としっかりと話し合いをしながら、どう有効に活用していくか、この座間市にとって、未来の子どもたちにとっても良質な資産を残していったり、少しでも負担を軽減したりといったことも含めて、総合的に今後とも考えていきたいと思っています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、特に御意見、まだされてない方はいかがでしょうか。じゃ、こちら前の方、よろしくをお願いします。

【参加者】

1番最初にお話ししたいのは、やっぱり今日のこの会場の様子を見ても、こういう特に地域の人、地元の方の意見を汲み上げるのがいかに難しいのかなと。これは今に始まったことじゃありませんけれども、佐藤市長はもともと自転車にのぼり旗立てて駆け回って、それこそ市民の方の意見を聴き回っての方ですから、余計思うのですけれども、皆様おっしゃったように、行政に市民の声を反映するとは言いますが、それがいかに難しいか。前の総理の菅さんなんかも、新聞記事なんか読むと、総理になってから情報が上がってこなくなったなんて、そう言われて

ので、今、多分そんな思いでいるのではないのかなって想像しますけれども、更に、なかなかお忙しいし、どうしても組織の長となると、いわゆる職員さんをお願いして汲み上げなきゃならないでしょうけど、ぜひ直接声を聴き上げる機会を多くつくっていただいて、前の菅総理のような感想を言われることがないようにしていただきたいと基本的に思います。

それで、今、病院の駐車場の料金のこととかがありましたけど、これは例えばコミバスの件もさっきどなたかがおっしゃったけど、あれ、市役所を中心にどうしたって税金使うことですから考えますから、スーパーとか駅とかには止まりませんよね。私もあれの審議会で散々意見を言いましたけど、結局のところ、やっぱり税金を投入するところと私企業とのバランスとかいろいろあって、今の駐車場のお話もそうだと思うのですが、バランスが難しい。それで結局使い勝手が悪いものになる。それで1時間か2時間に1本しか来ないし。だから、あのとき私は、それだったら必要なお年寄りにタクシー券を渡してやったらどうだなんて逆に言ったことあるのですが、ぜひ、ちょっと表現が曖昧になって申し訳ないけど、今おっしゃったように限られた税金でやることですから、どうしたらそれぞれの課題に1番効率的になるのかというところはよく吟味していただいて、お願いしたいと思うのです。全ての問題についてそういうことになるかどうかと思います。

あと、やっぱりどうしても、この間の会議でも出てましたけれども、組織として、市役所の組織として動くとなると、この間も市長は横断的なチームを作ってというふうにおっしゃってましたけど、現実にはそれを作って動かすとなると、今日も緑化祭りの会議だったり、芹沢公園の運営の会議だったりしてきましたけど、市民だけの組織で対応できるっていう現状ではないと思いますから、どう市民協働とか、佐藤市長は、共に創る、「共創」と言ってますが、そのベースをまずどう作っていくか、やっぱりやむを得ないと思うのですが、職員さんは仕事でなさいますから、仕事の枠というのがある程度できてしまうと思うのです。そこをどう、今皆様がおっしゃったような形で、どう表現したらいいのかよく分かりませんが、いわゆる市民目線としてどう取り組むかということだと思うので、もともと、さっき言ったように、自転車で走り回ってた市議会議員さんですから、それから、もともとは市民運動から出てきた人ですから、余計に期待したいと思いますので、その辺の感覚をお話いただければと思います。よろしく申し上げます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。直接声を聴く機会ということと、あと、限られた財源の中での財政運営、行政運営の御意見だったかと思います。いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。なかなか鋭い点を御意見いただいたと思います。おっしゃるとおり、私は、16年間自転車に乗り続けて市民の皆様の意見を伺いながら、市民の皆様とともに、行政と一緒にどうしたらやっていけるかということで、市民活動団体の立

ち上げをお手伝いしたりということで、どうしても市民と、行政は法律の下に動いているので、なかなか溝があるというか、感覚的なものはどうしても差があるので、そこを埋めてきたというそういう活動をしてきました。長としてそういったところを更に推進をしたいという気持ちでいるのですけれども、おっしゃるとおり、私一人で動くことはできないので、職員の皆様にも同じような感覚を持って動いていただけたらということでもいろいろと伝えているのですけれども、なかなか私もまだ指示の出し方が上手ではなかったり、なかなか思いが伝わらなかったりということで、まだまだ精進をしていかななくてはいけないと感じておりますが、本当に市民の皆様の声を聴くという姿勢は堅持をしていかななくてはいけないことだということ、この1年半通しまして実感しております。今、やっと総合計画の懇談会ができたわけですけれども、こういったものをできるだけやっていかななくてはいけないということをつくづく感じております。

そして、そういった中で、最小の経費で最大の効果を上げられるようなアイデアを皆様にも伺いをしながら、市としてできるところや、今、いろいろな企業様とも連携をしてやっている事例もございます。もうよく御存知だと思うのですけれども、小田急電鉄さんとの「サーキュラー・エコノミー」の取組などは、収集車にデジタルのタブレットを付けまして、どこのごみをどれだけ積んだかということがそれぞれの収集車で分かるような形を取っておりまして、ここにもう少し載せられるからということで大変効率的に回れるようになったその分で剪定枝を収集し、その剪定枝をバイオマスの燃料として市内の企業に出しているといった、大変良い循環もできてきて、それがごみ削減につながっているという大変先進的な取組で、先日は台風の時に、そのタブレットで危険な箇所や水が増している所を写真を撮って送っていただいたりということで、そういったことにも今後取り組んでいけるかもしれないなということで、試行でやってみたりしたのですけれども、そういった取組もNHKに取り上げていただいたりといったことで、これまでなかなか考えられなかったことですが、DX化ということも今まで取り組んでいなかったことで、DX化を進めることで効率的であったり、これまでなかったような効果を得られたりということが進められるかもしれないということは感触としては持っております。今、デジタル推進係ということで立ち上げまして、そちらのほうも徐々に進めているところですので、DX化を通して市民の皆様が、市民本位で様々な活動ができるように、幸せにつながるような形をつくっていかれたらと思っていますし、デジタル化で取り残される方がないような取組もしていかななくてはならないと思っています。

おっしゃるとおり、市民の皆様だけで様々なことをやっていくのは限界があると思っていますので、それを行政としてどのように支援をしていったらいいかということも大変課題だと思っておりますし、座間市の場合、いろんな住区や区割りが御存知のとおり様々なものがあるので、校区と11住区が重なってなかったりということで、これからコミュニティ・スクールなども始まるわけですが、そういった中で地域のコミュニティをどのように形成していくかというのは、市として大変課題だと思っていますので、そういったところももしできるならば整理をさせていただいて、自治会それぞれに成り立ちがあるので、なかなかこの整理も御理解いただけるか

という課題はあるのですけれども、やはりしっかりその辺りも、自治会や様々な団体の皆様と話し合う場がこれまでなかなかなかったですね。地域の活性化、経済の活性化についてもこれまで話し合ってきたことがあまりないので、そういった話し合いの場なども設けて、皆様と一緒に、この座間市をどう活性化するか、どのように今挙げていただいた課題を解決していくかということをお話し合いをしていきながら、創意工夫を凝らしていきたいと考えております。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他の方、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、後ろから2番目の方、よろしくお願いします。

【参加者】

ちょっと難しいことは分からないので、自分の関心のあることをお聴きしますけれども、まず、コロナのワクチン接種のこれからの展開についてですが、もうマスコミでというか、媒体で出てきている部分があるけど、一般市民は、あ、そうなんだって。それでどういうふうに取り組みされるのか。過去のワクチン接種の取組の分で、最初のスタートの時点ではかなり私たち疑問があったのです。

例えば1番最初にどれだけの量が自治体の方に回ってくるかが掴めなかったかもしれないですけども、65歳以上と決められた。それによって我々アナログ世代の人間は、電話を何回も何回も何回もした。つながらない、つながらない、つながらない、つながった、もう受付終わってます。ですから、受ける側もする側も無駄な時間を、ものすごい莫大な多分そうだと思いますよ。市役所で受けられた方もほとんど8割方断る電話で終始したと思います。そういった展開を十分に踏まえてこれからのことを考えてらっしゃるのかもお聴きしたいですし、ですから、今から振り返れば、あのときは65歳以上よりも、逆に85歳から始めても良かったのではないかと、そういう反省点もあると思うのです。それはそういうふうにつまえてらっしゃるのかをお聴きしたかったし、それに、デジタル化の流れでこれからの展開をどういうふうにご考えられているのかをちょっとお聴きしたい。

【コンサルタント】

その点、いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。コロナのワクチン接種についてでありますけれども、本当に大変、電話がなかなかつながらないということで皆様にご苦勞をお掛けしたことについては、反省すべき点は反省をし、今、2回目終わるまでの間でだいぶその年齢、初め

65歳までということで、その後、その下の年代のときには、65歳までのところで一斉に皆様に開放したということで、年齢が上のほうの方たちがなかなか取れなかったというようなことも踏まえまして、期間を少し区切りまして、予約が入れられるような形を取らせていただきました。本市の場合、LINEでの予約にさせていただいたので、65歳以下の方たちは比較的LINEで取っていただいて、また、地域の方たち、ここにいらっしゃる方たちも、恐らく知り合いの方などのLINEを取っていただいたりということで、かなり皆様助け合っていただいて無事に行えたということ、本当にありがたく思っています。そのおかげといいましょうか、本市ではLINEの登録数が6万2千人ということで、大変これはなかなか近隣でもないような数だと思います。約半分ぐらいの市民の方たちがLINE登録していただいているということです。

これから3回目ということで、一応8か月後ということで国から、基本的には8か月後ということで示されていますので、今回の場合は8か月前にやった方というのはある程度の数いらっしゃいますので、そういった方たちを順次御案内できるような形であったり、これまでの反省点をできる限り改善をした形で取り組みたいと思っております。御不便を掛ける部分もあるかと思いますが、そのような形で取り組みたいと思っております。また、LINEの登録でだいぶ皆様に情報発信がスムーズにできるようになったということは、本当にありがたいと思っております。

【参加者】

すみません、ちょっと追加ですが、LINEの受付のことで、家族で65歳以上で私ども一人いて、母親が90いくつ。同時に申し込めないのです。例えば母親を介護して連れて行かないといけない。でも、自分のとは同じ時に取れないのです、LINEは。ずれてしまって二度手間になる。それなんか、例えばよく医者にかかるときに、今、ウェブで申し込んだりすると、自分がかかって、他に家族の方いらっしゃいますっていうような項目があって、同時に受け付けられるのです。そういうふうなものLINEでできないか。今変わってれば申し訳ないですが、なっていないとしたら、そういうのが一般の医院でもできるのにできないはずはないと思うのです。皆様、多分、家族でほんとはぱっと受けたい。申し込みが一発で済むように。そういうシステムは構築できるのではないかと思うのですけども、なぜかということです。

【コンサルタント】

よろしいでしょうか。

【市長】

ありがとうございます。ちょっとその辺りの細かいところについては、今日いただいた御意見を参考にしながら担当にも伝えたいと思います。ありがとうございます。

【コンサルタント】

その他の方、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、この後、最後に市長から総括のコメントをいただきたいと思います。本日いただいた意見、少し整理させていただきます。最初、子育て、教育という観点から、給食等に関する御意見いただいたかと思います。それに関連して、農業の課題、問題でありますとか、あと、水とか緑といった視点でしょうか、座間市にはこういういいところもあるのだけど、こういう課題もあるといったような御意見をいただいたかと思います。また、高齢者、子育て支援等に関する御意見、あと、公共施設とか駐車場とか、そういった管理でありますとか運営といった視点だったかと思います。後半は、少し政策的な部分も含めて市民に分かりやすい計画づくり、また、直接こういった声を聴く機会等、あと、財政運営、行政運営といった視点で御提案等もいただいたかと思います。

では、総括といたしまして、市長よろしく願いいたします。

【市長】

皆様、本日は大変長時間にわたりまして貴重な御意見をたくさんいただきまして、ありがとうございます。本日いただきました御意見なども踏まえながら、今後の市政運営に活かしていきたいと考えております。

先ほども話の中にございましたが、本市はこれまで、昭和40年代に人口が大変急増しまして、公共施設を随時建ててきたという経過もございまして、なかなか学区というもの自治会の住区というものが一致をしていなかったりといった課題もございます。ですが、大変狭い、4キロ四方の狭い市域の中に13万人もの人が住んでいるという、これはプラスに捉えていい面ではないかと思っているのですけれども、人口減少社会の中で人口が今は減っていない。ただ、その構造というものは、生産年齢人口というのは減少傾向にあるわけですが、人口が減っていないということは、市にとっての活力にもなりますし、市にとっての魅力であると思っています。それは、都内からも電車で1時間半、2時間もあれば通勤ができる範囲でありますし、また、横浜には30分ぐらいで通勤ができたり、小田急線や相鉄線やJRや、そして少し行くと田園都市線なども利用ができるといった利便性が高い他、道路に関しましても大変利便性が高く、近年では市内に大型の物流倉庫がだいぶ進出をしています。大型の物流倉庫業界では、この県央地域は「物流倉庫業界の六本木だ」と言われているという話も聴いています。それは人口もいるためにそこで働き手も確保ができるといった、そういったこともメリットだと思っています。

ですが、渋滞の課題だとかいろいろと課題もありますので、そういったことも含めて、今後のまちづくりを皆様と共に考えていきたいと思っておりますし、座間市は、水がおいしいということ、それから、緑が多いということも住んでいる皆様が感じていただいていることだと思います。急行が停まるわけではないですけれども、各駅停車でほっこりとした大変良い人柄の方が多いというのが私の印象で、ほっこりとしたまちで、自然が豊かであるということ、また、農業なども後継者の問題などがありますけれども、農業もやっつけていただいている方がいらっしゃいますの

で、そういった座間市の資産である緑をしっかりと守りながら、住みよいまちづくりをしていきたいと思ひますし、また、交流人口を増やしていくというのが市の活性化につながると思ひます。

「ひまわりまつり」や「大凧まつり」などといった観光の行事があるわけですが、そこにはお金が落ちるのですが、市内全域的にそういった観光でお金落ちるような仕組みというのは今構築ができていないと感じているので、そういったところも皆様方と話し合いをしながら、活性化につながるような形を取っていかれたらと思ひますし、座間市の名産や座間市の特性を全国に発信をしながら、日本一元気で楽しいまち・座間をつくりたいと思ひていますので、今後とも皆様方のお力添えをいただきまして、座間市のまちづくり、よろしくお願ひいたします。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。本日は誠にありがとうございました。

【コンサルタント】

それでは、意見交換の方はこれで終わりたいと思ひます。たくさんの御意見、また円滑な進行に御協力いただき、どうもありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

5. 閉会

別ファイルにまとめています。